

養老 渓谷

養老八景

- 麻綿原高原
- 栗又の滝(養老の滝)
- 水月寺
- 筒森もみじ谷
- 懸崖境
- 弘文洞跡
- 観音橋・出世観音
- 梅ヶ瀬渓谷

- おもなハイキングコース**
- 滝めぐりコース (約4km)**
栗又の滝—(滝めぐり遊歩道2.7km)—小沢又の滝—(0.5km)—水月寺—(0.8km)—栗又の滝展望台
 - バンガロー村・弘文洞跡コース (約7.4km)**
養老溪谷駅—(0.7km)—宝衛橋—(1.5km)—タ木台—(0.5km)—奥養老バンガロー村—(1.7km)—弘文洞跡—(0.6km)—中瀬キャンプ場—(0.3km)—観音橋—(0.5km)—白鳥橋(吊橋)—(0.9km)—宝衛橋—(0.7km)—養老溪谷駅
 - 大福山・梅ヶ瀬コース (約9.6km)**
養老溪谷駅—(0.7km)—宝衛橋—(1.8km)—女ヶ倉—(2.9km)—大福山展望台—もみじ谷—梅ヶ瀬渓谷 (4.2km)



めぐりませんか

至千葉・牛久

至五井・千葉

至久留里

至亀山

至勝浦・小湊

至清澄

観音橋
養老川にかかる3連の太鼓橋。朱塗りの欄干が川面に美しく映える。その橋を渡ると出世観音がある。

養老溪谷駅
☎0436-96-1609
大多喜タクシー ☎0470-82-2731
山本タクシー ☎0470-83-0577

市原市観光協会(月休み)
☎0436-22-8355
大多喜町観光本陣(月休み)
☎0470-80-1146

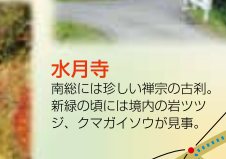
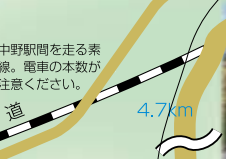
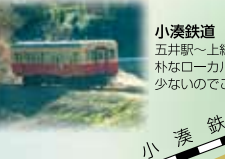
源頼朝
源頼朝が石橋山の合戦で敗れ南総に逃れたとき、持参した観音像に戦勝を祈願、のち天下を平定した。爾来ご神体を「再起の守護神・出世観音」とし、当山観音院に移入安置。靈験あらたかという。

大福山展望台(285m)
草木・シダ類の繁る自然林は県の天然記念物。山頂には白鳥神社が祀られている。展望台からの眺めは最高。

筒森もみじ谷
房総地方の紅葉は関東では最も遅くまで楽しめる。この付近は例年12月初旬まで盛期が持つ。

麻綿原高原
高原一帯に20万本ものアジサイが咲乱れる様はまさに壮観。見ごろは例年7月中旬から8月上旬。養老川はこの付近を源流としている。

清澄寺
古木に囲まれた、日蓮聖人ゆかりの名刹。100年以上前に造られた星の井戸など見どころいっぱい。



小湊鉄道
五井駅～上総中野駅間を走る素朴なローカル線。電車の本数が少ないのでご注意ください。

懸崖境
養老谷の懸崖をかざる新緑と紅葉がみごと。道端には野草がいっぱい。

弘文洞跡
約140年前、耕地開拓のため熊来川を川廻し(蛇行する川は自然に三日月湖をつくるが、それを人為的に行い湖の部分に耕地にする方法)してつくった隧道路。隧道路は昭和54年5月崩壊したが、今も史蹟・景勝地として訪れる人が絶たない。

梅ヶ瀬渓谷
千葉県一の紅葉の名所。川幅4.5m、長さ約80mにわたり高さ30～50mの梅ヶ瀬層と呼ばれる浸食崖がみられる。冬期には地中から滲み出す地下水が見事なつらら群を形成する。

養老の滝
全長100m、房総一を誇る名瀑。滝壺から下流に滝めぐり遊歩道がある。新緑・紅葉も美しい。

水月寺
南総には珍しい禅宗の古刹。新緑の頃には境内の岩ツツジ、クマガイソウが見事。

小沢又の滝
崖を切り開いた見学コースになっている。見る場所によって違う表情を見せる瀑がある。

新川
老川もみじ郷

川の家

天龍荘
民宿さかや

嵯峨和
観音橋

養老館
観音橋

せせらぎ
観音橋

鶴乃家
観音橋

喜代元
観音橋

大福山展望台
観音橋

福水

新川

十万石

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

福水

いすみ鉄道
大原～上総中野駅間13区間を走る路線。上総中野駅で小湊鉄道と接続し、房総半島を横断することができます。春は菜の花で沿線いっぱい黄色に染まります。

最新情報はインターネットで[養老溪谷旅館組合]をご覧ください。
<http://www.yoroikeikoku.com/>